

## 発題

### 「即時原発ゼロ」を求めて

## 原問

福島原発事故がいまだに収束していない中、政府のパブリックコメントで9割が「原発ゼロ」を表明、毎週金曜日の官邸前抗議行動に90万人以上が参加、さらに先の県知事選挙で示された市民の「原発すぐなくせ」の思い等に対する見解を市長に質しました。

これに対し市長は、「原発に対して様々な方々が思いを発しているが、私は再生可能エネルギーの推進により必要な電力を確保し、**市民の日常生活や経済・産業活動に深刻な影響が出ない時点で、原発への依存を抑えていくべきと考える**」との答弁。市民の「原発すぐなくせ」の思いには応えませんでした。

## 区体業 山立事 谷連続交

### 谷山電停前の踏切撤去を見直します

～ 通行人の安全を確保し商店街の営業を守るために ～

現在、**谷山地区連続立体交差事業**として、「**鉄道の高架化**」工事がすすめられています。工事が進む中で沿線住民の方々から意見要望がだされています。そこで党市議団として住民アンケート活動に取り組み、市当局にもその結果を報告し、「夜間休日の騒音振動対策」「スクリーンゾーン安全対策」「駐輪場の確保対策」などの改善を求めてきました。

とりわけ、**谷山電停前の踏切撤去（下写真）**にともない商店街の営業への悪影響が懸念されているので当初計画の見直しを要請したところ、**建設局長から「見直しを検討している」との答弁**があり、改善にむけて一歩踏み出しました。



## 外所 認可保

### 「療育」の支援に補助の充実を

本市では認可保育所104施設、認可外保育所106施設があり、約15%の児童が認可外保育所に入所し、保育行政の一翼を担っています。

党市議団はこれまでも認可外保育所や保護者の皆さんと共に実態や要求について市と懇談を重ねてきました。

今回は認可外保育所の保育料への直接助成で保護者の負担軽減をはかることや発達支援などの「療育」に小規模園が果たす新たな役割から、市独自の制度である「療育支援費補助金」を認可外にも拡充することなどを検討すべきと市当局に要請しました。

## 名園 中入喜 都市公

公園がひとつもない

### 喜入中名校区に公園設置を要望

子どもからお年寄りまで利用できる**喜入都市公園（街区公園）**は、都市計画では「**不可欠な施設**」と位置づけていますが、旧喜入町では合併後の公園設置が遅れています。公園設置のためには、土地所有者から市が無償で借り上げて建設しなければなりません。

この度、中名校区の土地所有者から申し出があり、住民の署名も添えられて市長に「**公園設置の陳情書**」が提出されました。喜入地域の中でも、中名校区のみ公園がありません。建設局長から「**検討を行っている**」との答弁があり、今後も住民と力を合わせ公園設置を要望していくことが必要です。



中名駅の近くにある広い空地は公園に適した場所です